



Copyright © 2018 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. [intra-mart Document Link 2016 Summerからの変更点](#)
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. サードパーティ ライセンス一覧
- 8. 制限事項
- 9. 保証規程
- 10. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
2018-04-01	初版
2018-08-01	第2版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「システム要件」にintra-mart Accel Platformのバージョンを追加しました。▪ 「システム要件」から Windows Server 2008 R2 日本語版、英語版 を削除しました。▪ 「システム要件」から Microsoft SQL Server 2008 R2 を削除しました。▪ 「システム要件」から PostgreSQL 9.3 を削除しました。▪ 「検証済み環境」に Windows Server 2008 R2 に関する警告を追記しました。
2018-12-01	第3版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「システム要件」にintra-mart Accel Platformのバージョンを追加しました。▪ 「システム要件」に Payara 5.182 を追加しました。▪ 「システム要件」に OpenJDK 11 を追加しました。▪ 「検証済み環境」に Payara 5.182 を追加しました。▪ 「検証済み環境」に OpenJDK 11 を追加しました。
2019-04-01	第4版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「システム要件」から Oracle Database 11g Release 2 を削除しました。

変更年月日 変更内容

2019-04-19 第5版 下記を追加・変更しました

- 「システム要件」にintra-mart Accel Platformのバージョンを追加しました。
- 「システム要件」に Oracle Database 12c Release 2 を追加しました。
- 「システム要件」から iOS 10.3 を削除しました。
- 「システム要件」から Android 5.0 を削除しました。
- 「システム要件」に iOS 12 を追加しました。
- 「システム要件」から Android 8 を追加しました。
- 「検証済み環境」に Oracle Database 12c Release 2 を追加しました。
- 「検証済み環境」から iOS 10.3 を削除しました。
- 「検証済み環境」に iOS 12.1 を追加しました。
- 「検証済み環境」に Android 8.0 を追加しました。

2019-08-01 第6版 下記を追加・変更しました

- 「システム要件」に Resin のバージョンを 4.0.62 に変更しました。
 - 「システム要件」に Oracle Database 12c Release 1 を削除しました。
-

はじめに

本書の内容

本書では intra-mart Document Linkのリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

複合機でスキャンした文書を、IM-Workflowの添付文書として登録
IM-BISで作成したBPM/ワークフローの添付文書に登録することも可能

intra-mart Document Link 2016 Summerからの変更点

システム要件

- サーバ要件
 - Windows Server 2008 R2 日本語版、英語版 を削除しました。
 - Microsoft SQL Server 2008 R2 を削除しました。
 - PostgreSQL 9.3 を削除しました。
 - Payara 5.191 を追加しました。
 - OpenJDK 11 を追加しました。
 - Oracle Database 11g Release 2 を削除しました。
 - Oracle Database 12c Release 1 を削除しました。
 - Oracle Database 12c Release 2 を追加しました。
 - Resin 「4.0.56」 → 「4.0.62」 に変更しました。
- intra-mart Accel Platform
 - intra-mart Accel Platform 「2018 Spring - 2018 Winter」 → 「2018 Spring - 2019 Summer」 に変更しました。
- クライアント要件
 - Microsoft Edge 41 を追加しました。
 - iOS 12 を追加しました。
 - Android 8 を追加しました。
 - iOS 10.3 を削除しました。
 - Android 5.0 を削除しました。

検証済み環境

- サーバー要件
 - Payara 5.182を追加しました。
 - OpenJDK 11を追加しました。
 - Oracle Database 12c Release 2 を追加しました。
- クライアント環境
 - Microsoft Edge 41 を追加しました。
 - iOS 10.3 を削除しました。
 - iOS 12.1 を追加しました。
 - Android 8.0 を追加しました。

機能一覧

分類	機能概要
複合機機能	複合機でスキャンした文書を、IM-Workflowの添付文書として登録する機能です。IM-BISで作成したBPM/ワークフローの添付文書に登録することも可能です。
QRコード付き帳票作成	IM-FormaDesignerを使用して、QRコード付きの帳票を作成する機能です。QRコード付きの帳票は、複合機でスキャンするときに使用できます。IM-BISの画面定義で、QRコード付きの帳票を作成することも可能です。

システム要件

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

種別	製品名
CPU	Intel Xeon (Intel 64)
	AMD Opteron (AMD64)
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 日本語版、英語版
	Windows Server 2012 R2 日本語版、英語版
	Windows Server 2016 日本語版、英語版
	Red Hat Enterprise Linux 6
	Red Hat Enterprise Linux 7
ハードウェア	各OSの安定稼動が可能となるPC (CPU 3GHz以上を推奨)
クラウドサービス	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)
	Microsoft Azure Virtual Machines
必要メモリ容量	4GB 以上
必要ディスク容量	下記の合計値 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1GB 以上 (intra-mart Accel Platform のみ) ▪ 1GB 以上 (intra-mart Document Link のみ) ▪ 運用に応じて格納する文書のサイズ合計以上の空き容量
JDK	Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
	OpenJDK 11 (Resin の場合のみ)
Web Application Server	Resin 4.0.62
	Payara Server 5.191

データベース

Oracle Database 12c Release 2

Microsoft SQL Server 2012

Microsoft SQL Server 2014

Microsoft SQL Server 2016

PostgreSQL 9.4

PostgreSQL 9.5

PostgreSQL 9.6



注意

intra-mart Document Linkで使用する文字コードは、UTF-8のみです。



注意

Microsoft製品（SQL Server）をご検討の場合は事前に弊社までご相談ください。

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2018 Spring - 2019 Summer（Advanced Edition、Enterprise Edition）
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。
- intra-martのモジュールとして、「IM-Workflow」および「IM-FormaDesigner」が必要です。



注意

データベース等のシステム要件に関して、intra-mart Accel Platform では対応していても、アプリケーションでは対応していない場合があります。
必ず、本ドキュメントに記載されているシステム要件をご確認ください。

クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ
PC	PC/AT 互換機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 11 Google Chrome 62以上

	Windows 8.1 Update		Internet Explorer 11 (デスクトップ用 Internet Explorer)
			Google Chrome 62以上
	Windows 10		Internet Explorer 11
			Google Chrome 62以上
			Microsoft Edge 41以上
スマートフォン	iPhone	iOS 12	Safari
	iPad	iOS 12	Safari
	Android端末	Android 6 Android 8	Google Chrome Google Chrome



警告

各ベンダーより提供される、サーバ・クライアント製品のサポート終了に伴う、弊社製品の対応方針について

下記を参照してください。

参考：http://dev.intra-mart.jp/product_policy/（日本語）

Microsoft Windows 10 については、公式がサービスを終了するバージョンはサポート対象外です。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（日本語）

<https://support.microsoft.com/en-us/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（English）



注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。



注意

Internet Explorer の「互換モード」はサポート対象外となります。



注意

Android端末は機種やブラウザの種類によって正常に動作しない場合があります。



注意

Androidタブレットはクライアント要件には含まれません。



注意

クライアントブラウザは標準モードのみがサポート対象となります。
例として、Internet Explorer の「互換モード」、「エンタープライズモード」はサポート対象外となります。



注意

Internet Explorer 11 は、更新バージョン 11.0.4(KB2925418) 以上の必要があります。



注意

Windows 8.1 上で Google Chrome を利用する場合、Windows 8 モード はサポート対象外となります。



注意

Windows 8.1 の Internet Explorer 11 (Windows UI の Internet Explorer) はサポート対象外です。

Internet Explorer 11 については、下記を参照してください。

[https://msdn.microsoft.com/library/hh771832\(v=vs.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/library/hh771832(v=vs.85).aspx) (日本語)

[https://msdn.microsoft.com/library/hh771832\(v=vs.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/library/hh771832(v=vs.85).aspx) (English)

複合機要件

種別	製品名
複合機	Apeos PEMaster Evidence Entry が対応する複合機
連携ソフトウェア	Apeos PEMaster Evidence Entry 2.4 (2.4.3以降のみ)



注意

「intra-mart Document Link」をクラウドサービスで使用する場合、「intra-mart Document Link」と「Apeos PEMaster Evidence Entry」の間は、セキュリティで保護された通信としてください。

 コラム

Apeos PEMaster Evidence Entryについては、下記を参照してください。

https://www.fujixerox.co.jp/product/software/apeos_pemaster/evidence_entry.html

Apeos PEMaster Evidence Entryは、2017年3月をもって、複合機認証のサポートを終了しています。

検証済み環境

サーバ環境

スタンドアロン構成

OS	JDK	Web Server	Web Application Server	データベース
Windows Server 2012 R2 英語版	Oracle JDK8		Resin 4.0.48	Microsoft SQL Server 2014
Windows Server 2008 R2 英語版	Oracle JDK8		Resin 4.0.48	Microsoft SQL Server 2014
Red Hat Enterprise Linux 7	Oracle JDK8		Resin 4.0.48	PostgreSQL 9.4
Windows Server 2016 日本語版	Oracle JDK8		Resin 4.0.53	PostgreSQL 9.5
Windows Server 2016 英語版	Oracle JDK8		Resin 4.0.53	PostgreSQL 9.6
Windows Server 2012 R2 日本語版	Oracle JDK8		Resin 4.0.53	Microsoft SQL Server 2016
Windows Server 2012 日本語版	Open JDK11		Resin 4.0.58	Oracle Database 12c Release 1
Windows Server 2016 日本語版	Open JDK11		Resin 4.0.58	Oracle Database 12c Release 2
Windows Server 2016 日本語版	Oracle JDK8		Payara 5.182	PostgreSQL 9.6
Red Hat Enterprise Linux 7	Oracle JDK8		Payara 5.182	PostgreSQL 9.6



注意

Windows Server 2008 R2については本リリースノート初版時点での検証に基づいています。2018 Summer以降はサポートされません。

分散構成

OS	JDK	Web Server	Web Application Server	データベース
----	-----	------------	------------------------	--------

Windows Server 2012 日本語版	Oracle JDK8	Internet Infomation Services 8.5	Resin 4.0.48 [A] Resin 4.0.48 [B]	Oracle Database 12c Release 1
		* Resin [A] [B]に 接続	* 別筐体に Resin を構 築	

クライアント環境

PC

OS	ブラウザ
Windows 10 April 2018 Update (バージョン 1803)	Microsoft Edge 42 Google Chrome 69
Windows 7 SP1	Internet Explorer 11 Google Chrome 69

スマートフォン

OS	ブラウザ	機種
iOS 12.1	Safari	iPad
Android 8.0	Google Chrome	Nexus5X

サードパーティ ライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
libpng	1.2.46	オリジナル	http://www.libpng.org/pub/png/libpng.html
zlib	1.2.3	オリジナル	http://zlib.net/

制限事項

導入

JavaVMヒープサイズ

スキャン文書をワークフローに添付するとき、文書ファイルをいったんメモリに読み込むため、登録する文書サイズに見合ったJavaVMのヒープが必要です。

intra-martの稼働状況によって必要なJavaVMのヒープサイズは異なりますので、十分余裕を見てJavaVMのヒープサイズを設定してください。

システムロケールを2言語以下に設定した環境について

システムロケールを英語/中国語/日本語のうち1言語または2言語に設定した環境で、FormaDesignerのアプリケーション「sample_document_link_purchase」をフォームデザイナーで開こうとするとエラーが発生します。

これは、「sample_document_link_purchase」の対象ロケールが英語/中国語/日本語の3言語に設定されているためです。

この問題を回避するためには、「sample_document_link_purchase」の対象ロケールとシステムロケールを一致させる必要があります。

Formaアプリケーションの作成権限を持つユーザで、以下の操作を行ってください。

1. 「サイトマップ」→「Forma管理画面」→「Formaアプリ作成」→「アプリ一覧」をクリックします。
2. 「sample_document_link_purchase」の編集画面を開きます。
3. 「アプリケーション情報」タブをクリックします。
4. 「更新」をクリックします。

複数のバーチャルテナントを構築した環境について

複数のバーチャルテナントを構築した環境の場合、デフォルトテナント以外では、intra-mart Accel Platformの「テナント自動解決機能」を利用してください。

アップデートについて

次のバージョンからアップデートする場合、Apeos PEMaster Evidence Entryとintra-mart Document Linkの設定を変更する必要があります。

- 2013 Spring (intra-mart Document Link8.0.0)
- 2013 Autumn (intra-mart Document Link8.0.1)
- 2014 Spring (intra-mart Document Link8.0.2)



コラム

アップデート手順の詳細は、「intra-mart Document Link導入ガイド」-「intra-mart Document Link 2013 Spring(8.0.0) から 2014 Spring(8.0.2) までを 2014 Winter(8.0.3) へアップデートする」を参照してください。

運用

IM-BIS／IM-FormaDesignerのユーザコンテンツ（フォーム）画面でタブ分割を設定した場合の挙動について

intra-mart Accel Platform 2015 Spring 以降で、IM-BIS／IM-FormaDesignerのユーザコンテンツ（フォーム）画面でタブ分割を設定できるようになりましたが、intra-mart Document Linkは、「ヘッダ部分もしくは追加したタブに配置したアイテムからの値の取得」と「ヘッダ部分もしくは追加したタブに配置したアイテムへの値の設定」はできません。

IM-BIS／IM-FormaDesignerのユーザコンテンツ（フォーム）画面で画面遷移を設定した場合の挙動について

intra-mart Accel Platform 2015 Spring 以降で、IM-BIS／IM-FormaDesignerのユーザコンテンツ（フォーム）画面で画面遷移を設定できるようになりましたが、intra-mart Document Linkは、「追加したフォームに配置したアイテムからの値の取得」と「追加したフォームに配置したアイテムへの値の設定」はできません。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=idl>）に

掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザー登録を完了されたお客様のみに行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

Microsoft、Windows、Excel、PowerPointおよびInternet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

IntelおよびXeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

AMDおよびOpteronは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Red HatおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴはRed Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Resinは、Caucho Technology, Inc.の米国における登録商標です。

Google Chrome およびAndroidは、Google Inc. の商標または登録商標です。

iPad、iPhone、Mac OS、OS X、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iOSの商標は、Ciscoの米国およびその他の国のライセンスに基づき使用されています。

iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

Apeos、Apeos PEMaster、Evidence Entry、およびApeosPortは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上